

L P ガス C P 情報(2012年11月積み)

1. 11月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン 1,050^{ドル} (前月比 +25^{ドル})
 ブタン 990^{ドル} (前月比 +25^{ドル})

① LPガススポット市況

LPガススポット市場は、定修明けの産ガス国からのスポット供給が限定的で、FOB玉にタイト感が強く、市況は高値で推移した。

第2週にCP先物市況は軟化したが、第3週以降は、市況様子見ながら在庫を積み増したい消費国と高値で捌きたい供給側が綱引き状態で、FOB玉のタイト感から強含んだ。一方、スポットの供給量が落ち込み、船舶需給がだぶつきフレート市況は急落、第4週には1年8か月ぶりに40^{ドル}を割り込んだ。ナフサは軟化して920~950^{ドル}どころで推移、11月ブタンCPは割高感が強いが、プロパン、ブタン格差が大きく、プロパンに連れ高となったか。先物指標は先安となっているが、今後は本格的な需要期、天候相場となれば、寒波次第で低在庫の日本をターゲットにスポットの急騰もあるか？

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン、ブタンともに4ポイント上昇。前年同月比ではプロパン29、ブタン16ポイントのそれぞれ上昇となった。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	57.1	57.1	44.6	38.8	67.2
CP先物指標：P	1040	1020	1040	1040	1035
CP先物指標：B	970	955	955	975	964

② 原油市況等

原油市況をみると、10月のWTIは92^{ドル}、ドバイ109^{ドル}台でスタート、イランやシリア情勢悪化による地政学的リスクが高まる一方、需要減退懸念と高水準在庫というファンダメンタルズの弱さから市況は軟化した。トランスカナダのパイプラインの一時閉鎖で反発したが、ハリケーン「サンディ」による製油所停止～原油在庫増懸念から原油市況は下落した。なお、WTIの建玉(総取組高)は160万枚弱と高水準だが、大口投機玉ネット買い越しは18万枚に減少した。

- 10月積みアラビアンライト(10月1~31日まで)は110.73^{ドル}(前月比-1.78^{ドル})
 熱量等価AL100% プロパン907.90^{ドル/トン} ブタン895.45^{ドル/トン}
 AL比 プロパン111.11% ブタン106.06%

2. 2012年12月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日	80.58	84,609	79,774	+3,400	+3,300
21~20日	80.82	84,900	80,000	+3,600	+3,400
26~25日	80.87	84,900	80,100	+3,300	+3,300
1~31日	79.98	82,600	77,800	+4,400	+3,200

*TTS平均は11月1日まで、1~31日分はコスモ11月仕切に適用
 コスモは前月CP3分の2、当月CP3分の1の案分。

なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。